

国内・海外の高校・大学との交流について
 桃園市立經國國民中學との学校交流
 国際部 中野靖子

1. 目的

英語を用いて様々な国の人々と国際交流を行うことにより、コミュニケーション力を高め、異文化理解や国際理解を深める。また授業に参加し、同じ課題に取り組むなど主体的・協働的な学びを通して、主体性や実践力を身に付ける。

2. プログラム概要

經國國民中學の生徒 20 名、教員 2 名が本校を訪問。夏に海外語学研修を終えた 3 年生と小石川フィロソフィーの授業体験や文化交流など行った。

表 1 日時:平成 27 年 11 月 11 日(水)12 時～16 時

12時	到着
昼休み	ウエルカムランチ 昼食・交流
5 限	授業体験 小石川フィロソフィー 理科「自然科学・探究活動の基礎」 社会「裁判の変遷と裁判員制度」 体育「スポーツ理論及び実習」 英語「Reading for Pleasure」等 (各講座に分かれて授業体験)
6限	避難訓練 地震・火災の避難訓練に参加
7限	文化交流 台湾生徒による学校紹介・演奏 小石川生による日本文化紹介・合唱 記念品贈呈・記念写真

〔理科「自然科学・探究活動の基礎」〕

台湾の生徒と共に相関係数について演習・発表を行う。与えられたデータをもとにグラフを作成、相関係数を計算するなど、協力して課題に取り組んだ。

避難訓練では、地震と地震による火災の発生を想定。教室内では机の下へもぐり、その後、火災から身を守るために、迅速に校庭へ避難した。台湾の生徒と共に真剣に訓練を行った。

文化交流では、台湾生徒による学校紹介、本校生徒による「大地讃頌」の全員合唱を行うなど有意義な交流の時間となった。

3. 成果と課題

小石川フィロソフィーの授業を一緒に受けて、異文化の生徒たちと共に学び課題に取り組むよい機会となった。また、避難訓練に参加し、防災に関する興味関心も高まった。英語だけでなく、台湾語にも接するよい機会となった。

国内・海外の高校・大学との交流について
 シンガポールとの学校交流について
 国際部 中野靖子

1. 目的

本校では6年間を通して全生徒を対象に英語をツールとする国際理解教育を推進し、国際交流を活発に進めている。海外修学旅行は、これら国際理解教育を総括する教育活動であり、決められた課題について議論するなど、相手国の高校生と学校交流することを目的の1つとしている。

学校交流を通して相互の意見交換を行い、自主性、協調性を養うとともに、生徒相互の親睦を図る。

2. 事前学習

英語をコミュニケーションのツールとして使用し意見交換を行うために、英文のポスターセッション用のポスターや説明準備、ディスカッションの準備をしている。また、代表生徒によるパワーポイントを利用したフィロソフィーの研究発表の準備も行う。

3. 学校交流

Pioneer Junior College、Commonwealth Secondary School、St. Hilda's Secondary School、Hong Kah Secondary School の4校と学校交流を行う。

表 1

活動内容(基本パターン)
◇オープニング Ceremony :生徒代表の挨拶・学校交流記念品の贈呈 スクールツアー
◇ポスターセッション ポスター発表 課題研究のポスターを掲示し、その前で発表を行う。
◇ディスカッションセッション ①グループでディスカッションを行う。(40分) ②グループごとに提言をまとめ、発表する。(20分) *「環境」というテーマに関するディスカッション *各グループは「汚染」「気候変動(温暖化)」「資源」の3つのサブテーマについて話し合う。
◇プレゼンテーションセッション ①代表生徒によるパワーポイントを使った研究発表 ②閉会式

4. 成果と課題

英語をコミュニケーションのツールとして利用し、異文化の生徒たちと共に学び、意見交換をするよい機会となった。